

# NPO 釜ヶ崎

野宿生活者の就労機会拡大・居住・生活の安定のために、私たちは努力します。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 1-5-4  
TEL:06(6630)6060 E-mail: npokama@npokama.org http://www.npokama.org

## 第4回 釜ヶ崎支援機構 総会

6月4日(水) 午後7時より 西成市民館・3階講堂

釜ヶ崎支援機構第4回総会を来る6月4日(水)午後7時より「西成市民館・3階・講堂」で開催いたします。右下地図をご参照下さい。

ご多忙とは存じますが、ご参集下さいますよう、お願いいたします。

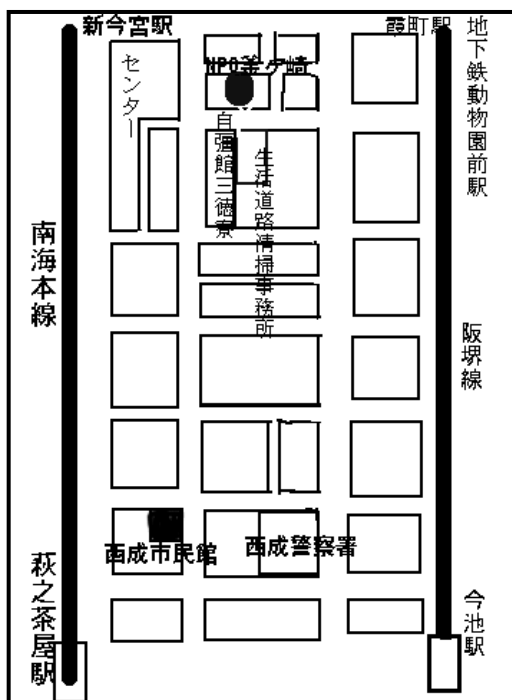
### 議 題

- 1、事業報告
- 2、決算報告
- 3、会計監査報告
- 4、事業計画案
- 5、予算案
- 6、長期借入金承認の件
- 7、その他

以上について審議いたします。本年は定款による役員任期2年の中間にあたるため人事事項は予定されていません。

なお、その他に提案事項がございます

したら、書面にて5月30日までに提出下さい。会員でご欠席の方は、総会の成立に関わりますので、委任状をご返送下さいますようお願い申し上げます。



## 2002年度事業報告

会報 17号において、「現場担当者の声」により、事業報告をお伝えしたので、ここでは概略の報告とします。

緊急地域雇用創出基金を活用しての事業を昨年に引き続き大阪府・大阪市から委託された。野宿を余儀なくされている高齢労働者や野宿にいたるおそれのある高齢労働者を延べ 84,735人雇用し、多少の収入増をもたらして困窮生活をいささか緩和することに貢献した。また、高齢者特別清掃事業（輪番就労）では、府・市事業共に経費節減に努め、人件費を確保して3月に延べ875人の増員を実現し、就労機会拡大に貢献した。大阪府事業で本年1月上旬から25名増員があり、就労回数が増え、月3~4回の就労となっていたが、3月は5回の就労となった。登録数は2,821名であった。今年度登録数は、2,932名、過去に一度も登録したことのない新規登録は861名であった。

民間の就労機会提供事業では、昨年に引き続き、連合大阪からの依頼によるメーデー会場清掃で100名の雇用が増えた。高槻ニューハイツ自治会・ノートルダム修道院・大阪自彊館三徳寮・フランシスコ会（ふるさとの家）からも就労機会を提供していただいた。

あいりん臨時緊急夜間避難所の運営委託を大阪市から受け、延べ199,598人に寝場所を提供した。そのことにより、

寝場所探しの苦難を軽減することに貢献した。また、毎日平均200人に寝場所を提供した大テントの運営は9月まで実施した。大阪城野営地の設置により休止したが、その後テントが破損し、寝場所提供としての再開はできなくなっている。

「ホームレスの自立支援などに関する特別措置法」成立後の緊急援護事業の一環として、風邪薬・胃腸薬などの医薬品の提供を大阪市から受け、夜間宿所で求めに応じ配布している。近く、一食ごとに袋詰めされたアルファーマイメイトの提供も受け配布する予定。

野宿生活者常用雇用促進事業の委託を昨年に引き続き大阪府から受け、大阪府が設置した「自立支援センター」（市内3ヵ所）入所者を一時的に雇用し、就労リズムの再獲得のための作業を実施した。

2002年11月より、「長居仮設避難所運営補助事業」・「西成仮設避難所運営補助事業」に加えて「大阪城仮設避難所運営補助事業」を「みおつくし福祉会」から委託され、入所者の現金収入となる所内作業や巡回相談などの業務を行い、施設入所者の生活向上に幾ばくか貢献した。また、月に一度、懇親のための野球大会を開催している。各仮設避難所入所者を対象とした所外作業（基金事業）も委託を受け実施している。なお、長居仮設は、2003年3月末で閉鎖された。

「野宿生活者能力活用推進事業」の委託を昨年に引き続き受け、自立支援セ

ンターや仮設避難所の入所者に求人情報を提供するほか、靴修理・自転車修理・塗装などの技能講習を実施した。受講生の内一名が「自転車整備士」の資格を取得した。また、大阪市より修理用教材として中古自転車の提供（年間200台）を受けることとなった。

**福祉相談事業**として、主に就労機会提供事業や寝場所提供事業で関わりができた野宿生活者を中心に、福祉相談（居宅保護・入院・入寮）事業をおこなった。

（会報17号に詳細報告）

#### 調査研究活動

連合大阪と共に「野宿生活予防119番」を実施（本年1月）し、43件の相談を受け、一定の提言をまとめることができた。

「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」に基づく聞き取り調査の一部（70票）を実施した。

「あいりん臨時夜間緊急避難所」では2003年3月に利用者を対象としたアンケート調査を行った。また、輪番労働者を対象に健康状態や結核検診受診の有無などについてアンケート調査を2003年3月に実施した。

**野宿生活者自助努力援助事業** 法人として大阪府公安委員会より「金属くず商」と「古物商」の許可を得、昨年10月より大阪城公園で、野営地の中の島公園移転後は中之島公園で、アルミ缶の買い入れをおこなっている。（本年4月からは大阪城仮設でも開始。1日平均486

キロ、一人当たり14キロ）。野営地での4月までの買い取り実績は、125.42トン、持ち込み人員延べ12,482人、買い取り総金額12,726,647円（一人1回当たり約1,020円となる）。

**公衆衛生モデル事業** 厚生労働省より大阪市感染症対策室が研究助成を受けた事業の一部を委託され、感染症対策室指名の専従1名を置いて結核検診の促進、治療継続の維持援助活動などをおこなっている。

#### 広報活動

独自ドメインのホームページ上で、会報・広報版・現場通信などを公開した。

<http://www.npokama.org>

**広報版の発行**：2002年7月から毎月「NPO釜ヶ崎通信（広報版）」を発行（毎月1000部）し、大阪市内区役所・出張所の市民情報コーナーにおいてもらうことで、不特定多数の市民に野宿生活者問題について広報している。

**会報の発行**：会報「NPO釜ヶ崎」を隔月奇数月に6回発行し、全会員に郵送するほかホームページでも公開した。

会員の集いは、隔月偶数月に当会事務所2階で開催した。

**現場通信の発行**：就労機会提供事業で就労する労働者を対象に「NPO釜ヶ崎・現場通信」を19回発行した。地方選挙に関連して「投票行動」を呼び掛け、西成区内の投票区で投票率が軒並み下降した中で、萩之茶屋投票区のみ若干ながら前

回を上回った。

**公衆衛生通信の発行** センターにレントゲン車を毎月1回横付けしての「あいりん住民結核検診」の周知徹底と、血核についての知識の普及をはかるために、毎月1回発行している。

**その他：** 全国の野宿生活者支援団体と共に「野宿生活者自立支援法」制定を求める活動をおこなった。昨年7月、「ホームレスの自立等に関する特別措置法」が成立した。

「萩之茶屋駅周辺まちづくり研究会」に法人会員として加入、毎月一回、3回実施された清掃作業にもリヤカーを貸出し、事務局から1名が参加した。

**第3回社員総会：**2002年5月27日西成市民館において、午後6時45分より開催した。2002年5月26日現在会員数63名中48名(内委任出席16名)が出席し、総会成立定数を満たしたことを確認後予定された議事に入った。なお、非会員の出席は22名であった。事業報告・会計報告・人事案件(全理事留任)・事業計画など原案通り承認され閉会した。

#### 理事会その他の役員会の開催状況

第3回社員総会で設置とメンバーが確認された評議員会を2002年8月5日午後7時から西成市民館で開催した。釜ヶ崎支援機構の事業の概略紹介の後、意見交換をおこなった。釜ヶ崎支援機構事務局から、第2回評議委員会をもっと充実したものとして開催するために、街づく

りのイメージを、各人文章にまとめて8月末までに提出、次回を9月に開催することを提案、了承された。6名から文書提出があったが、「南北夜間宿所問題」の状況から第2回評議委員会の開催は見合わされた。

理事会は2回開催された。1回は5月27日、総会に先立ち、全理事が出席し、議案の検討と役員人事(全員留任)の確認がなされた。

2回目は、2002年11月27日午後6時から西成市民館において、全理事出席し、開催された。議題：1. 事業中間報告(a. 就労機会提供事業について、b. 寝場所提供事業について、c. 福祉相談事業について、d. 金属くず商・古物商営業許可取得報告、e. 参加委員会等について—CAN・全国調査検討会・区福祉計画・区高齢まちづくり等—)

2. 今後の取り組みについて(a. 丸紅補助金事業と市・感染症対策室結核対策、b. 大阪城仮設避難所開設について、c. あいりん臨時緊急夜間避難所について、d. 政策提言機能を強化することについて、e. 野宿生活者の参政権—投票—についての啓発活動について)

その他 夜間宿所前歩行者通路へのフラワーポット設置に関わって「木曜夜まわりの会」から提出された抗議文について、経緯が報告された。状況の説明が「会」に対してなされたが、理解が得られない状態であるとの認識で一致した。

2002年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(1) (2002年4月1日～2003年3月31日)

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	【収入明細】	
(資金収支の部)					
I 経常収入の部					
1 会費収入				<寄付金>	
正会員会費	500,000	510,000	10,000	加○光○氏	602,074
賛助会員会費	30,000	35,000	5,000	ソウル釜ヶ崎	700,000
2 寄付金等収入				部落解放同盟西成支部	500,000
寄付金	4,000,000	8,297,467	4,297,467	大阪府府民共済	2,000,000
補助金	0	3,040,660	3,040,660	労働者福祉協会	200,000
3 事業収入				ノートルダム教育修道女会	100,000
受託事業事務補助	33,000,000	45,735,709	12,735,709	煉獄援助修道会	200,000
NPO就労部門	1,000,000	1,643,070	643,070	匿名	1,000,000
アル缶支援部門	0	10,460,785	10,460,785	その他	2,995,393
4 ホームレス実態調査委託費収入	0	980,000	980,000	計	8,297,467
5 雑収入				<補助金>	
預金利息他	35,000	122,122	87,122	大阪市家賃助成金	240,660
経常収入合計(A)	38,565,000	70,824,813	32,259,813	丸紅基金助成金	2,000,000
II 経常支出の部				松翁会	800,000
1 事業費				計	3,040,660
福祉部門事業費	3,000,000	6,363,735	3,363,735	<NPO就労収入>	
就労部門事業費	1,000,000	1,622,858	622,858	メーデー会場清掃作業	848,641
アル缶支援部門事業費	0	10,833,955	10,833,955	ノートルダム教会清掃作業	240,000
2 管理費				三徳寮塗装作業	241,429
役員報酬	0	2,950,000		フランスコ会清掃作業	183,000
役員社会保険料	0	403,800		高槻ニューハイツ自治会除草作業	130,000
給料	33,000,000	40,641,370	7,641,370	計	1,643,070
社会保険料	3,000,000	5,192,716	2,192,716	<雑収入>	
家賃	720,000	720,000	0	講師謝礼等	70,000
水道光熱費	600,000	643,910	43,910	預金利息	6,582
消耗品費	700,000	421,240	△ 278,760	その他	45,540
研修費	100,000	25,000	△ 75,000	計	122,122
会議費	0	33,460	33,460		
広報費	300,000	56,600	△ 243,400		
通信費	350,000	765,627	415,627		
交通費	100,000	97,080	△ 2,920		
その他	300,000	1,199,056	899,056		
経常支出合計(B)	43,170,000	71,970,407	28,800,407		
経常収支差額(A)-(B)	△ 4,605,000	△ 1,145,594	3,459,406		
前期繰越収支差額(C)	6,570,454	6,570,454	0		
当期収支差額{(A)-(B)}+(C)	1,965,454	5,424,860	3,459,406		

注：第3回総会において、理事長を専任理事とすること、報酬を支払うことが可決された。収支報告書の新項目「役員報酬・役員社会保険料」合計 3,353,800円（総会後の10ヶ月分）がそれに該当する。

## 2002年 アルミ缶支援事業収支報告書(参考)

(2002年10月1日～2003年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	摘 要
<収入の部>		
アルミ缶売却収入	10,460,785	
<b>収入合計(A)</b>	<b>10,460,785</b>	
<支出の部>		
アルミ缶買取費用	9,881,687	
ボランティア報酬	165,000	
通信費	30,710	携帯電話料
消耗品費	408,120	はかり、中古車輛
ガソリン代	273,688	
印紙代	4,000	領収書貼付用
雑 費	70,750	
<b>支出合計(B)</b>	<b>10,833,955</b>	
<b>収支差額(A)-(B)</b>	<b>△ 373,170</b>	

## アルミ缶支援事業明細について

「売却」と「買取」の差は、579,098円で、利益率は約5.5%である。「消耗品費」と「雑費」を除いた支出合計は、473,398円である。今後、秤や軽トラック(アルミ缶収集をおこなっていただいている教会などの回収・運搬に使用)を購入しないとすれば、買い取りなどに関わっているボランティア(中之島野営地の仲間)への支出に、もう少し、回せる余地があることになる。

## 2002年 福祉部門支出明細報告書(参考)

(2002年4月1日～2003年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額
支援金	2,645,404
交通費	721,715
通信費	156,771
消耗品費	1,610,921
データ入力要員報酬	735,379
雑費	31,095
貸倒損失	462,450
<b>支出合計</b>	<b>6,363,735</b>

## 福祉部門明細について

「支援金」のうち250万円は、中之島野営地における1日3食の炊き出しにあてるために支出されたものである。

「消耗品費」は、丸紅基金からの補助金の対象事業(相談記録の電子化、データベース化)に必要なパソコン(サーバー用、デスクトップ、ノート各1台)の購入費用である。データ入力要員報酬は3ヶ月分。相談者の履歴・相談内容・相談経緯・結果などを入力し、検索やデータ更新が可能なシステムを構築した。

「支援金」と「貸付け」の基本的な区別は原則として、「入院・入寮」の手続き中の弁当代などを「支援金」とし、「居宅保護申請」の手続き中の弁当代・住民票設定に要する費用(失踪宣告取り消し費用など)を「貸付け」としている。貸付け総金額は、186万円(延べ798人、実人員213人=一回当たり平均貸付金額2,400円、一人当たり貸付額8,740円)。返済済みと現在も継続返済中のものを除いた貸倒金額が462,450円(実人員23人=1ヶ月当たり2人、一人当たり金額20,106円)。貸し倒れの一人当たり金額が大きいのは、比較的若い人の施設入所については、「負い目」を少なくし、「責任」も感じてもらうために「貸し付け処理」していることによる。ドヤ代・飯代10日分相当金額である。生保手続き終了後の失踪あるいは死亡による貸し倒れも含まれる。福祉部門寄付・カンパは107万円であった。

2002年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支報告書(2)【受託事業の部】(2002年4月1日～2003年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
II 経常支出の部		(資金収支の部)	
1 事業費		1 経常収入の部	
<人件費>		1 事業収入	
あいりん生活道路清掃事業	78,890,994	あいりん生活道路清掃事業	82,604,657
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	82,604,657
ハズ停清掃事業	44,998,247	ハズ停清掃事業	51,243,935
保育所環境美化推進事業	44,998,247	保育所環境美化推進事業	51,243,935
児童遊園環境美化推進事業	89,996,494	児童遊園環境美化推進事業	99,211,885
各区環境美化推進事業	224,991,235	各区環境美化推進事業	252,943,690
高齢日雇労働者就労自立促進事業	154,519,766	高齢日雇労働者就労自立促進事業	184,426,000
野宿生活者常用雇用促進事業	62,779,199	野宿生活者常用雇用促進事業	89,000,000
あいりん労働福祉センター就労回転機能向上事業	60,283,658	あいりん労働福祉センター就労回転機能向上事業	63,848,000
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	39,751,778	あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	48,920,378
長居緊急臨時避難所運営補助事業	27,955,280	長居緊急臨時避難所運営補助事業	29,282,417
西成緊急臨時避難所運営補助事業	34,318,553	西成緊急臨時避難所運営補助事業	35,431,620
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	12,104,629	大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	12,576,259
迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業	14,153,580	迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業	22,934,911
(西成・長居・大阪城所外作業)		(西成・長居・大阪城所外作業)	
野宿生活者能力活用推進事業	4,332,132	野宿生活者能力活用推進事業	8,000,000
公衆衛生マニール事業	2,978,157	公衆衛生マニール事業	3,391,460
人件費計	717,058,952	経常収入合計(A)	497,811,045
<その他経費>		※注1:当期収支差額の12,621,604円は大阪府・市への返還予定額	
あいりん生活道路清掃事業	3,713,663	※注2:就業延人数=84,735人	
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		あいりん生活道路清掃事業=10,115人	
ハズ停清掃事業	6,245,688	あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業	
保育所環境美化推進事業	6,245,688	ハズ停清掃事業=5,431人	
児童遊園環境美化推進事業	6,245,688	保育所環境美化推進事業=5,431人	
各区環境美化推進事業	9,215,391	児童遊園環境美化推進事業=5,431人	
高齢日雇労働者就労自立促進事業	27,952,455	各区環境美化推進事業=10,709人	
野宿生活者常用雇用促進事業	29,906,234	高齢日雇労働者就労自立促進事業=19,065人	
あいりん労働福祉センター就労回転機能向上事業	17,600,246	野宿生活者常用雇用促進事業=9,697人	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	3,664,802	あいりん労働福祉センター就労回転機能向上事業=7,313人	
長居緊急臨時避難所運営補助事業	9,168,600	あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業=4,667人	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	1,327,137	長居緊急臨時避難所運営補助事業=1,974人	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	1,113,067	西成緊急臨時避難所運営補助事業=2,553人	
迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業	4,781,331	大阪城緊急臨時避難所運営補助事業=866人	
(西成・長居・大阪城所外作業)		迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業=1,483人	
野宿生活者能力活用推進事業	3,666,668		
公衆衛生マニール事業	413,303		
その他経費計	72,012,718		
経常支出合計(B)	1,036,788,836		
経常収支差額(A)-(B)	820,737,788		
前期繰越収支差額(C)	12,621,604		
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)	0		
	12,621,604		

2002年度 特定非営利活動にかかわる事業会計貸借対照表(1)  
(2003年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構  
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	2,304,690	
普通預金	りそな銀行萩之茶屋支店	759,281	
普通預金	UFJ銀行萩之茶屋支店	742,221	
郵便貯金	西成花園郵便局	1,015,710	
郵便振込口座		37,541	
近畿労働金庫		10,000	4,869,443
保証金		1,800,000	
立替金		213,642	
貸付金		313,870	2,327,512
	流動資産計		7,196,955
	資産合計		7,196,955
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
前受会費		20,000	
前受賛助会費		10,000	30,000
預り金	職員源泉所得税	99,010	
	社会保険料	705,058	
	その他	99,064	
支払引当金	社会保険料	838,963	1,742,095
	流動負債計		1,772,095
	負債合計		1,772,095
<b>III 正味財産の部</b>			
	前期繰越正味財産		6,570,454
	当期正味財産増加額		△ 1,145,594
	正味財産合計		5,424,860
	負債及び正味財産合計		5,424,860

※注1:資金の範囲は現金預金とする

※注2:保証債務はなし

※注3:保証金は就労機会提供事業(大阪府分)で使用する駐車場3ヶ所分

※注4:仮払金・貸付金・立替金は福祉部門のもの

※注5:近畿労働金庫口座は労金の定額カンパ制度を活用するためのもの



2002年度 特定非営利活動に関わる事業会計貸借対照表(2)【受託事業の部】  
(2003年3月31日現在)

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構  
(単位:円)

科 目 ・ 摘 要		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手元有高	5,681,440	
普通預金	りそな銀行萩之茶屋支店	17,068,127	
普通預金	UFJ 銀行萩之茶屋支店	20,560,449	43,310,016
仮払金		9,598,744	9,598,744
未収入金		3,594,000	3,594,000
2 保険印紙			
	雇用保険印紙	755,944	
	健康保険印紙	4,623,030	5,378,974
流動資産合計			61,881,734
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3月度消耗品費等	9,548,322	
未払賃金		408,250	
未払消費税		14,256,388	
預り金	弁当代	2,315,600	
	社会保険料	7,991,983	
	返還金	12,621,604	
支払引当金	社会保険料	14,739,587	61,881,734
流動負債合計			61,881,734
<b>III 正味財産の部</b>			
	前期繰越正味財産		0
	当期正味財産増加額		0
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			61,881,734

※注:返還金内訳

- ①8,620,604円は野宿生活者自立支援事業
- ②4,000,000円は迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業環境美化事業
- ③1,000円は野宿生活者能力活用事業

2003年度 特定非営利活動事業にかかわる会計収支予算書(2)【受託事業の部】  
(2003年4月1日～2004年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 事業収入		
あいりん生活道路清掃事業	83,943,300	83,943,300
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	51,998,736	
保育所環境美化推進事業	51,998,736	
児童遊園環境美化推進事業	51,998,736	
各区環境美化推進事業	137,692,647	293,688,855
高齢日雇労働者就労自立促進事業	214,608,000	
野宿生活者常用雇用促進事業	89,000,000	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	64,803,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	58,733,001	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	35,356,312	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	40,128,933	
迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業	36,532,251	
野宿生活者能力活用推進事業	17,525,000	556,686,497
経常収入合計(A)		934,318,652
II 経常支出の部		
1 事業費		
あいりん生活道路清掃事業	83,943,300	83,943,300
あいりん高齢日雇労働者等除草等作業事業		
バス停清掃事業	51,998,736	
保育所環境美化推進事業	51,998,736	
児童遊園環境美化推進事業	51,998,736	
各区環境美化推進事業	137,692,647	293,688,855
高齢日雇労働者就労自立促進事業	214,608,000	
野宿生活者常用雇用促進事業	89,000,000	
あいりん労働福祉センター就労斡旋機能向上事業	64,803,000	
あいりん臨時緊急夜間避難所運営事業	58,733,001	
西成緊急臨時避難所運営補助事業	35,356,312	
大阪城緊急臨時避難所運営補助事業	40,128,933	
迷惑駐輪に対する啓発、整理、清掃作業等の環境美化事業	36,532,251	
野宿生活者能力活用推進事業	17,525,000	556,686,497
経常支出合計(B)		934,318,652
経常収支差額(A)-(B)		0
前期繰越収支差額(C)		0
次期繰越収支差額{(A)-(B)}+(C)		0

※注:いずれの契約においても年度末残高は返還することとなっている

2001年12月補正予算で決定された「緊急地域雇用創出特別交付金」(「新交付金」)事業が、金額で受託事業の84.8%を占めている。この部分の事業は、2004年度終了後にはゼロとなることが予想される。その日までに、野宿生活者、野宿を余儀なくされるおそれのある人が皆無にならないとすれば、この事業費をどう確保し拡大するかが大きな課題であ

2003年度 特定非営利活動にかかわる事業会計収支予算書  
(2003年4月1日～2004年3月31日)

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入		
正会員会費	510,000	
賛助会員会費	35,000	545,000
2 寄付金等収入		
寄付金	11,500,000	
補助金	2,000,000	13,500,000
3 事業収入		
受託事業事務補助	40,000,000	
NPO就労部門	1,000,000	
アル缶支援部門	0	41,000,000
4 雑収入		
預金利息他	35,000	35,000
経常収入合計(A)		55,080,000
II 経常支出の部		
1 事業費		
福祉部門事業費	4,000,000	
就労部門事業費	1,000,000	
アル缶支援部門事業費	500,000	5,500,000
2 管理費		
給料	46,000,000	
社会保険料	5,500,000	
家賃	720,000	
水道光熱費	650,000	
消耗品費	600,000	
研修費	100,000	
広報費	300,000	
通信費	600,000	
交通費	100,000	
車両費	120,000	
損害保険料	180,000	
その他	100,000	54,970,000
経常支出合計(B)		60,470,000
経常収支差額(A)-(B)		△ 5,390,000
前期繰越収支差額(C)		5,424,860
当期収支差額[(A)-(B)]+(C)		34,860

2003年度事業計画  
受託事業の部

昨年に引き続き、委託事業のすべてが継続されることになった。金額的には1億円増となった。

受託事業は、当法人設立当初のゼロ予算から、今年度予算約9億1千万円となった。今年度を終了すると、4年半で累計30億円の貴重な税金の活用に関わらせてもらったことになる。問題の大きさ、対象となる人の多さから言えば、まだまだ充分といえないが、ゆだねられた事業費の執行に当たっては、事業目的に添い、より一層、厳正で有効な活用に努める。

輪番就労については、安全第一に、輪番労働者の体調などにも注意を払いつつ、仕事の成果を社会に認められるよう事業を遂行していく。また、

受託事業費総額の変遷

(単位:円)

受託事業当初予算額	年度中増額	受託事業決算額	返還金額	正味消化金額	対前年増減額	
1999年度予算	0	143,803,280	1999年度決算	143,803,280	0	143,803,280
2000年度予算	332,927,057	128,670,835	2000年度決算	461,597,892	0	461,597,892
2001年度予算	623,125,559	98,614,508	2001年度決算	721,740,067	6,000,000	715,740,067
2002年度予算	801,417,775	31,941,617	2002年度決算	833,359,392	12,621,604	820,737,788
2003年度予算	934,318,652					113,580,864

経費の節減に努め、年度末には就労数増加に結びつけていきたい。

能力活用推進事業にあっては、靴修理を中心としての店舗を開設、自転車修理とレンタサイクル店の開業などの具体的な成果をめざしたい。

## 窮迫の予算案! 事業計画案

受託事業会計を除いた本会計は窮迫している。2002年度の寄付・補助金の実績は1,130万円であったが、2003年度予算ではそれを上回る1,350万円の寄付・補助金を計上しなければ、予算が組めない状態である。専任理事人件費、社会保険料、福祉部門事業費を足した額に相当する。多くの人に広報し、理解を求め目標額の達成に努めたい。

### 新事業をめざして

本会計は極めて硬直している。新たな事業を展開する資金の余裕がない。しかし、釜ヶ崎支援機構に求められていることは多い。行政に施策要求し、その実施を受けることは大事で、大きな影響をもたらすものであるが、行政施策を導き出すためのモデルを民間で小さな規模であれ追求していくことも必要であると考え

「ホームレスの自立支援等に関する特別措置法」による基本方針、実施計画も追々明らかになるが、たとえば、民間が建物を借り、あるいは買い上げて受け皿を準備し、そこへ事業委託する、という方法によらなければ、実現が困難な施策もあるのではなかろうかと考えられる。

遺憾ながら、釜ヶ崎支援機構の本会計では、上記のようなことに対応する柔軟性がない。

第1回総会において、「高齢野宿生活者受入れ施設」の購入を目的とした長期借入金の承認を求めたが、具体策なきをもって否決された。今回はもっと漠然とした提案となる。自転車屋を開業する資金の借り入れ、あるいはグループホーム設置目的の建物購入、または、分散型自立支援センター居宅部分としての民間アパート借り上げ資金、等々。

筋から言えば、計画ごとに臨時総会を開催して承認を求めるべきかも知れない。しかし、事態は実に流動的である。理事会が決定できる選択肢を、幅広く確保しておく必要があると考える。結果として、借り入れは必要ないかも知れないが、選択肢がなければ、新事業に取り組めない。

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構 会報 18号 2003年5月14日

〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋1-5-4

電話 06(6630)6060 FAX06(6630)9777

会費・寄付の振込口座:郵便振替:00900-1-147702 釜ヶ崎支援機構

福祉部門への振込口座:UFJ銀行萩之茶屋支店(普)1114951 釜ヶ崎支援機構